



成隣だより

平成29年6月1日
第3号
昭島市立成隣小学校
校長 加賀田 真理



「特別支援教育」の充実のために

校長 加賀田 真理

来年4月より、特別支援教室が本校にも設置されます。2階の多目的室の工事を今年の夏に行い、施設面での準備が始まります。校内でも、昨年度から少しずつ準備を進め、内容の面でも特別支援教育の充実を図っているところです。具体的には、校内の教員を対象とした研修会を行い、発達障害の人がどのように世界を捉えているのかについて体感的に理解を深めてきました。また、6年生を対象とした授業を行い、同じように人によって世界を捉える感覚が違って、人よりも“感じすぎる”ことが世の中とうまくつながれなかったり、トラブルとなってしまったりする要因となっていることを体感的に理解することに取り組みました。また今年度からは、この学校だよりの最終面に紙面の四分の一を使った「特別支援教育について」というコーナーを設けて、本校の特別支援教育についての情報もお伝えしています。

市教育委員会も今年の4月に「昭島市立学校 教育のユニバーサルデザイン」という冊子を作成し、市内の全教員に配布してくれました。これをもとに、本校でも授業や教室の環境整備を進めています。

また先日(5/21)、NHKスペシャルで「発達障害～解明される未知の世界」という番組が放映され話題となりました。ご覧になった方もいらっしゃるかもしれません。事前に本校の教員にも紹介したところ、番組を視聴して積極的に理解を深めようとしてくれた教員もありました。

このような流れの中で、今年度は6月を「障害理解教育・障害児理解教育」に重点を置いて取り組む1か月として設定いたしました。具体的には以下のような取り組みを進めてまいります。

①「発達障害」にかかわる読書旬間の設定

6/5(月)～23(金)に、主に「発達障害」について理解を深めるための図書に親しむキャンペーンを行い、障害や障害児について、子供たちの理解を促進します。

②「発達障害」にかかわる理解教育の授業実践

6/17(土)に行われる学校公開の3校時に、6年生を対象にした「障害理解・障害児理解」にかかわる授業を行います。

③本校の特別支援教育についての取り組みにかかわる講演会・説明会の実施

6/17(土)の学校公開の4校時に「特別支援教育」にかかわる講演会と説明会を行います。講師には全国特別支援学級設置学校長協会 元会長の河本眞一(かわもと しんいち)先生をお迎えして、歴史的な経緯や特別支援教育の根本理念、これからの「共生社会」に求められるものなどについてお話をさせていただきます。

今の大人の方々が小学校に通われていたころには、まだ「特別支援教育」という言葉がありませんでした。発達障害についての理解も今よりも不十分だったかもしれません。しかし、「障害理解教育・障害児理解教育」の効果を高め、健常者や障害者、大人も子供も力を合わせてこれからの共生社会を共に創造していくためには、保護者や地域の皆様方のご理解とご協力が絶対に必要となります。

お忙しいこととは存じますが、発達障害にかかわる本やテレビ番組への関心を高めていただくほか、お時間が許すようでしたら、学校公開の際の講演会・説明会にぜひいらしていただきたいと思っております。